

## P F I 手法による本町田地区・南成瀬地区の新たな小学校整備等の業務内容について

第 1 回推進協議会で説明させていただいたとおり、新たな南第一小学校は、「P F I 手法」を用いて施設整備から新校舎完成後の運營業務までを一括して民間事業者が行います。

本日は、1月15日に P F I 事業の事業者公募を開始した「本町田地区・南成瀬地区 小学校整備等 P F I 事業」の内容を参考に報告します。なお、本 P F I 事業は 2 地区合わせて 1 つの契約としています。

## 1. 業務範囲

本町田地区・南成瀬地区の新たな小学校（2028 年度供用開始）の P F I 事業の業務範囲は以下のとおりです。

①施設整備（設計、建設、工事監理業務、新校舎建設予定地の旧校舎解体）
②維持管理業務（建物・設備保守、長期修繕計画の策定、用務、備品等の保守管理、外構等維持管理、清掃、植栽維持、警備、環境衛生）
③運營業務（給食調理、学校施設活用、ラーニングセンター運営、放課後の体験・活動の提供）

なお、教員が行う教育活動は本 P F I 事業の業務範囲に含まれません。

## 2. 主な業務内容

施設整備については、昨年、各地においてご議論いただきました「施設整備コンセプト」に基づいて進めます。ここでは、「運營業務」に求める主な内容をご紹介します。詳細は、民間事業者がこれまでのノウハウを用い、市の要求内容を実現できる具体的な方法を提案し、市と協議のうえ決定します。

業務範囲	考え方	要求内容
学校施設活用	学校を地域の核となる施設とするため、積極的に学校施設の活用を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が参加できるコンテンツを提供する。また、提供するコンテンツの内容を、「学校運営協議会」等を活用することで地域住民と協働で決める機会を設け、地域住民がやりたいことを自ら決め実施できるようにする。</li> <li>・コンテンツに参加する地域住民は実費相当の費用を負担する。</li> <li>・学校施設を地域に開放する諸業務を教員の手から離し本事業の業務範囲とすることで、教員が児童と向き合う時間など、本来の教育活動に費やすことができる時間を増やす。</li> </ul>
ラーニングセンター運営	新たな学校に整備するラーニングセンターを活用した教育活動の支援を行うとともに、様々なイベントの実施を通し、地域における学校の魅力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンスを強化するとともに、これまで以上に図書を授業に活用する支援を行う。</li> <li>・地域開放区画に整備し、メディアスペースを地域の様々な活動（映画観賞会や e スポーツ大会など）に活用できるようにする。</li> </ul>
児童への放課後活動の提供	学校施設活用諸室を活用し、希望する児童に対し学童、まちともとは異なる「多様な体験、活動」が経験できる機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望する児童に対して知育・運動・体験などのコンテンツを提供する。</li> <li>・コンテンツ提供に地域人材を積極的に登用し、コンテンツの決定にあたっては保護者・地域住民の参画を促す機会を設ける。</li> <li>・学童やまちともに参加している児童の中抜けや終了後などに参加できる体制を整備する。</li> <li>・コンテンツに参加する児童の保護者は実費相当の費用を負担する。</li> </ul>

## 3. 今後のスケジュール（予定）

本 P F I 事業は、9 月に事業契約を行い、新校舎の設計や建設を行います。

なお、南第一小学校は、本 P F I 事業を参考に、2025 年度から公募資料の作成を始める予定です。

